

SDGs宣言書

私たちは、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

宣言日 2022 年 4 月 22 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿		
全社員が自分事としてSDGsに取り組む人材となり、全ての社内プロジェクトがSDGsに基づいて組み立てられ、持続可能な地域社会の実現に貢献する。		
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動		
オープンファクトリーとして地域に工場を開き、SDGsに積極的に取り組み、地域に信頼される企業となる。		
目標に関連する取組内容		
ゴール	これまでの取組内容	2022年12月31日までの取組目標
	自社EC事業にて「ふじのくに福産品」の販売に取り組んでいる。	地域で、障がい者就業支援事業所の商品の認知度向上と販売金額向上をめざして、PR活動をする。
	福祉の入り口として、「ふじのくに福産品」のことも知ってもらう活動をECで行っている。	福祉と企業とを結びつける活動 福祉商品のBtoB販売サイトの構築（2022年中）
	・社内においてSDGsに関する個人の意識向上のため、情報を共有・地域の小中高大学へのキャリア教育、出張授業、ワークショップ等を行っている。	・SDGsカードゲームを社内研修として1回以上行い、理解を深め自分事としていく。 ・小中学生向けのものづくりワークショップの企画運営
	女性管理職の登用 女性社員の増員 多様性のある他を受け入れることができる風土作り。アンコンシャスバイアスを無くそうとの呼びかけ	女性のキャリア支援 女性社員を2022年2名増員
	太陽光発電システムでの発電	機器の維持管理・自社発電電力を自家消費へ
	就業規則で定年後も希望者は全員いつまでも働けるようにした。	定年年齢（65歳へ）の引き上げ
	精密機械板金技術の技術継承のための資格試験取得に向けた会社としての全面バックアップ	資格試験合格者を毎年1名以上輩出する。
	製品を作る際に発生する金属「端材」は分別してリサイクルしている。 山崎リユースセンターを作りとる組んでいる。（社員同士の不用品を交換し合う）。	・当社が販売した商品をエンドユーザーが廃棄する場合のリサイクルシステムを検討する。 ・山崎リユースセンターの継続、社内浸透
	CO2削減のため、燃えるごみの削減 ・ 産業廃棄物の分別に寄る削減（現在年間 1.5 m3）	・会社から出る燃えるゴミの検証 紙コップ、割りばし、紙皿等を完全に不使用 ・産業廃棄物を1.0m ³ に削減（1/3削減）
	マイボトルの推奨 マイボトル用給水機 社内3か所設置	・梱包資材（ラップ・ストレッチロール・PPバンド）等の見直し
	・医療連携協同組合にてBCP対応連携実施 ・ 女性事業承継者支援団体での活動での企業存続支援実施	中小企業の連携による「まちごとオープンファクトリー」プロジェクトを立ち上げ、工場をオープンにすることにより、地域産業を支えるものづくり企業のブランディングと雇用の促進を目指す。

（記載上の注意）

- 「目標に関連する取組内容」は、**3つ以上のゴール**に関する取組を記載してください。
- 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 取組目標は、**出来る限り定量的に記載**してください。
- ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 取組目標については、**毎年1月に達成状況を報告**していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	株式会社山崎製作所	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業 種	3. 製造業	
3	従業員（構成員）数	25 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役
		氏 名	山崎かおり
5	所 在 地	〒 424-0065	
		静岡市清水区長崎241番地	
6	ホームページURL	https://www.yamazaki-metal.co.jp/	